

## ☆現地実験☆

◇曳航式波浪計予備実験 ニューヨーク航路実船実験に使用する曳航式波浪計船体および軸系が完成したので、10月6日田宮 真教授、高橋幸伯助教授は日本楽器新居工場の協力のもとに、浜名湖で予備テストを行なった。その結果前後部船体の構造を改良し、補助翼を設けることによってほぼ予定の性能がえられることが確認されたので、必要な工事を行ない、11月初旬に下田港沖海面で最終予備実験を行なう予定である。

## ☆講演☆

◇教授 鳥飼安生、技官 李 孝雄「超音波による応力測定」第15回応用力学連合講演会、東大工学部において(1965.9.7)  
 ◇助教授 北川英夫「Irreversibility, Hesitation or Restoration of Damage in Wet-dry Fatigue Process—Effect of Corrosion on the Progress of Fatigue Fracture Studied in Relation to the Behaviors of Corrosion Fatigue Cracks—」第2回実験力学国際会議、ワシントンにて(大井光四郎教授により代読)(1965.9.28)

◇助教授 北川英夫「腐食性その他の環境中での疲れ」日本学術振興会腐食防止第97委員会、日本鋼管株式会社本社会議室にて(1965.9.28)  
 ◇助手 高島松雄「スポットダイアグラムを用いた解像力の計算」第26回応用物理学会、北海道大学教養部において、(1965.10.2)  
 ◇研究員 古川 浩「爆発成形について」精機学会高速塑性加工に関する講習会(1965.10.6)  
 ◇教授 尾上守夫、技官 市川初男、研究補助員 竹内久満「渦流検査用コイルの特性評価」日本非破壊検査協会秋期大会 III-1, 大阪電子会館において(1965.10.9)  
 ◇助手(特別研究員) 朝倉利光(特別講演)「光子の相関について」第20回物理学会年会、岡山大学教養部において(1965.10.13)  
 ◇助教授 北川英夫、技官 堀内正明「腐食疲れき裂をもつ鋼材の疲れ強さ」日本機械学会第43回全国大会、九州大学工学部において(1965.10.16)  
 ◇教授 永井芳男「芳香族化合物の現状と将来」日刊工業新聞・講習会(1965.10)  
 ◇研究員 古川 浩「爆発成形に関する研究(第8報)」日本機械学会第43期全国大会(1965.10.17)  
 ◇研究員 古川 浩「爆発成形に関する研究(第9報)」精機学会秋季大会(1965.11.20)

### 防災・公害特集

表紙 四日市上空にひろがるスモッグ

航空写真から、スモッグの発生源、その拡散の状況、濃度などをはっきりと捉えることができる。

### 巻頭言

公害研究会について……………岡本 舜 三… 1

### 特集

耐震工学研究の現況……………岡本 舜 三… 2

機械系構造物の耐震設計……………柴田 碧… 8  
 佐藤 壽 芳

—原子力発電所に関する研究を中心として—

高層および地下建築の防災対策……………星野 昌 一… 20

公害に関する法的規制の現状と問題点……………潮見 俊 隆… 28

水質汚染について……………木村 恒 行… 32

大気汚染問題の現状……………菊地 真 一… 41  
 鈴木 伸

生研ニュース……………表 2・52